



## アートと動物園の融合



### 1 みなもと『minamoto』

■ピクニック広場  
大きさの異なる3つの卵形の石彫刻を設置し、命のカクチを表現。実際に見て、触れて、考えることができる作品です。

### 2 you&zoo

■自動販売機コーナー屋上  
コンクリートで殺風景だった屋上を緑に塗り替え、動物のオブジェやキリンやゾウの形の椅子を設置して心温まる空間にしました。

### 3 アニマーク

■園内各所  
さまざまな形の足跡をその動物舎の周辺に配置し、動物の動きや習性を演出。実際に足跡を歩いてみて家族で楽しめる作品です。

### 4 『HANAKOTOBA』

■さるっこ森  
花の形の伝声管を通して動物と会話ができる作品です。一生懸命動物との会話に花を咲かせる子どもたちがいました。

### 5 『MIMAMORI』

■鳥っこの水辺周辺  
使われなくなった大きな鉄柱を活用し、動物のシルエットを設置。高い所から動物園を見守ってくれる作品です。

### 6-a Pop up Animals!

■資料館裏の壁面左側  
トリックアートをテーマに園内の動物たちを描いた作品です。人と絵が一緒に写ることで完成するので、ぜひ絵の前で写真を撮ってください。

### 6-b 大森の芽吹き・ちえんずー!

■資料館裏の壁面右側  
額から出たり入ったりしながら動物が姿を変えていくユニークな作品です。動物たちの生き生きとした姿が楽しめます。

### 6-c ラブ&ピース=アニマルズ

■マール横の壁面  
動物園に来た家族が楽しく元気な気持ちになれるようにとの願いで描かれた、ポップで明るい作品です。

## 開催の経緯

大森山動物園(以下、動物園)と秋田公立美術大学(以下、美大)は、これまでもアクセス道路への動物イラスト看板の設置など、アートに関するさまざまな取り組みを共同で行ってきました。

今回、国民文化祭メモリアルフェスティバルとして、動物園とアート作品の融合を図る「大森山動物園アートギャラリー事業」を実施するため、動物園と美大は平成26年11月から協議を重ね、学生主体で作品を制作し、大学と動物園はそれをサポートするという方針に決定しました。

平成27年4月には学生が園内を見学して作品の構想を練り、6月には学生によるプレゼンテーションが行われ、実際に制作する6作品が絞り込まれました。

また、アートギャラリー事業を実施するためのプロジェクト名を「大森山Arts&Zoo」と決定し、学生デザインによるポスターが完成しました。鮮やかな色彩によるライオンの迫力あるポスターは、広報あきたの表紙を飾るなど、事業のPRに大きく貢献しました。

## 作品の制作

8月には、作品制作の第一弾として、美大生と美大附属高等学院生による壁画の制作が行われ、真夏の暑さの中、資料館の白い壁には今にも飛び出しそうな動物たちのトリックアートが、マール横の壁にはポップでカラフルな壁画が完成しました。

9月には、園内の道路や施設の屋上を利用した作品の制作が始まり、開催1週間前には、美大の工房で制作された作品や、学生のデザインを基に協力企業が加工した作品が次々と園内に設置されました。

開催本番となる9月19日には、大屋根広場でオープニングセレモニーが行われ、制作者の学生たちによる作品の解説付きで来園者と一緒に園内を巡りました。また、午後からはビクターセンター動物園エリアでトーク&コンサート「アートで語る動物たち」が開催され、Happy Toco(ピアノ:榎原光裕、ヴァイオリン:佐藤聡子)による演奏と小松園長、美大の藤教授による軽妙なトークで来園者を楽しませました。

9月19日~23日の開催期間中は、美大附属高等学院生や栗田養護学校生の作品も園内に展示されたほか、秋田市内の小学生や来園した子どもたちが描いた塗り絵がビクターセンターに飾られ、雰囲気盛り上げました。

今回、事業の開催に当たりご協力いただいた地域の皆さまをはじめ、作品素材の調達や作品の加工、運搬、設置等にご協力いただいた企業の皆さま、また、PRグッズの制作などにご協力いただいた企業の皆さまに感謝申し上げます。

「大森山Arts&Zoo」は、平成28年度も継続して実施する予定です。今年はどうなアート作品が制作され、来園者の目を楽しませてくれるか今から楽しみです。

# 大森山 Arts & Zoo

特集  
1

2015年シルバーウィーク初日の9月19日、秋田公立美術大学の学生が中心となって制作したアート作品の展示が動物園で始まりました。前年、秋田で開催された国民文化祭のアフターイベントとして、動物園をアートギャラリーにしようという発想で始めたものです。テーマは「いのち(魂)の表現」。大学側と何度となく打ち合わせを行い、動物園と美大で結成されたプロジェクトが「大森山Arts&Zoo」でした。

新たな「いのち」が吹き込まれ、大森山が少しずつ変わっていくような予感がします。

壁画制作の様子

